

(目次) 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト 期間	具体の事業・施策(名称)	具体の事業・施策 (事業概要)	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成21年度) (単位:千円)	政策分野 の分類 (~)	新規・継続 の区分
鹿児島県	463043	十島村	トカラ観光振興プロジェクト	<p>(目的、概要)</p> <p>2009年7月22日に見られる本村(トカラ)を中心とした皆既日蝕では、今世紀最大の観測時間が見込まれ、多くの天文ファンから注目を集め、世界各地から観測者が来島することが予想されます。これをチャンスと捉え、トカラの豊かで手付かずの貴重な自然環境を全世界へ情報発信すると共に自然を破壊しない美しい観光地整備を行う。</p> <p>このプロジェクトは、皆既日蝕に向けた一過性の事業ではなく、豊かなトカラの貴重な自然環境を最大限に活かし、皆既日蝕後も多くの観光客やリピーターが癒しを求め、活力を得られる島づくりを目指す。</p> <p>また、出身者や二世、三世へ郷会的な「トカラ応援団」等の組織の結成を呼び掛け、備前し易い環境整備も併せて行う。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <p>入込客数 2006年 9,727人 2007年 9,481人 2008年 10,552人 2012年 12,000人</p> <p>友好島民会員数 2006年 495人 2007年 420人 2008年 503人 2012年 1,000人</p> <p>友好島民の会 島外者との情報交換等を積極的に図るとともに、情報交流を促進することでトカラへの関心を高め「トカラファン」を増やすことで地域の観光促進等による経済基盤の活性化の推進に寄与することを目的とした会費制組織であり、会員にはイベント等の優先案内、宿泊料金割引、カレンダーの送付などのサービスを提供する。</p>	平成19年度 ～ 平成21年度	受入施設及び観測場所整備事業	<p>2009年皆既日蝕では、トカラ列島全域で日蝕が観測でき、多くの天文ファンが来島を希望しているが、受入に際し、老朽化した施設が多いため必要な施設整備を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1. 貯水施設整備(来島者の生活用水確保 20tタンク)</p> <p>2. 既存受入施設改修(温泉施設ボイラー)</p> <p>3. 各島道路関係安全対策(側溝蓋・エオードミラー)</p>	80,613	43,488	6	継続
						観光地整備事業	<p>トカラの手付かずの貴重な大自然を活かすとともに北緯30度線という歴史的背景も含め、海外からの来訪者にも対応した観光地整備を行う。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1. フライ岳展望施設整備(牛侵入防止柵整備)</p> <p>2. 2009皆既日蝕対策事業(遊歩道整備・海水浴場安全対策他)</p>	181,661	26,211		
						受入対策調査事業	<p>2009年皆既日蝕に向けた観望者の受入対策及び調整を行い、未然に混乱を防ぐとともに可能な限り快適な観望環境を整える。また、皆既日蝕の前後を含めた自然現象を映像に記録し、今後の観光促進に役立てる。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1. 受入準備委員会の設置及び開催(受入環境準備他)</p> <p>2. 皆既日蝕中継・映像記録事業</p>	32,877	21,361		
						総計		295,151	91,060		
<p>ホームページアドレス(ある場合のみ) http://www.tokara.jp/index.html</p>											

1 「プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標」、「具体の事業・施策(事業概要)」欄は、個票から適宜要約してください。

2 「プロジェクトの期間」欄は、プロジェクトを構成する事業・施策の計画年度をもとに記入してください。

3 「政策分野の分類」欄には、以下の1～11のいずれか1つを記入してください。なお、複数の政策分野に重複すると考えられる場合は、各地方公共団体の判断により、最も近いものを記入してください。
 1 地域経営改革プロジェクト、2 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト、3 少子化対策プロジェクト、4 企業立地促進プロジェクト、5 定住促進プロジェクト、6 観光振興・交流プロジェクト、
 7 まちなか再生プロジェクト、8 若者自立支援プロジェクト、9 安心・安全なまちづくりプロジェクト、10 環境保全プロジェクト

4 「事業費」欄は、総事業費を記入してください。

5 「団体コード」欄には、6桁の地方公共団体コードを半角数字で記入してください。

6 「新規・継続の区分」欄は、平成19、20年度に応募したプロジェクトの継続であるものについては「継続」に、平成21年度に新たに応募するプロジェクトについては「新規」にそれぞれ分類してください。

なお、平成19、20年度に応募したプロジェクトの変更、追加、分割等を行った場合においては、おおむね以下の例を参考として、各地方公共団体の判断により、「継続」又は「新規」に分類してください。また、「新規」の場合、応募する前に、その内容を住民に公表してください。

分類例

(1) 事業費の変更

7 「ホームページアドレス(ある場合のみ)」の文字は削除した上で、ホームページアドレスを記入してください。